

『看護研究第5回目研修』研修会実施報告

日時 : 令和元年12月7日(土)

対象者 : 卒後4年スタッフ9名 アドバイザー3名 部署研究スタッフ8名

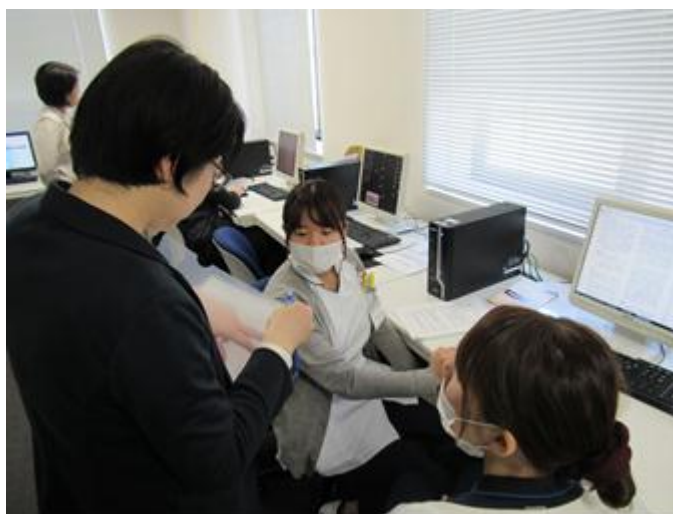
参加者数 : 20名

目的 : 看護研究の取り組み方法と実際を知り、看護の創造性を養う事ができる

<講師の紹介>

山陽学園大学 中木里実先生、
関西国際大学 平岡玲子先生にご指導
いただきました。

そして畿央大学 福森貢先生には
午前の研修をご指導いただきました。



<内容>

【看護研究発表演題】

〈卒後4年目研究 : 4題〉

1 グループ : 小児科病棟の点滴管理に関するパンフレットの
見直し - 改善と説明方法の検討 -

2 グループ : インシデント予防を目的とした KYT の導入に
向けて - KYT 導入後のカンファレンスへの取り組みについて -

3 グループ : 新人看護師のストレス要因についての実態調
査と対処方法についての検討

4 グループ : A 病院におけるプレパティが求める精神的
支援と現状の相違

〈部署研究 : 3題〉

3B 病棟 : 急性期外科病棟におけるスマークに対する看護
師の認識

4A 病棟 : 地域包括ケア病棟における生活リハビリテーションに
対する実態調査

4B 病棟 : 医療安全の観点からみた時間短縮勤務者退勤
後の PNS 導入前後のインシデント調査

院内看護研究発表を来月に控え、最後の研
修となった今回の研修は、卒後4年目の各グ
ループがまとめてきた論文の発表から始ま
りました。本番同様にパワーポイントを使用
しながらの発表を行い、質疑応答では講師の
先生と有意義な意見交換が行われました。そ
の後は各グループにわかれ、中木先生や平岡
先生、アドバイザーから指導をいただきなが
ら論文の完成を目指しました。福森先生から
は、研究結果をいかにわかりやすく文章や
図・グラフ等で表現していくかなどについて
ご指導いただきました。今回は部署研究のス
タッフも多く参加し、講師の先生に助言を受
けながら最後の追い込みに取り組みました。
グループメンバーで協力し、論文完成に向け
て頑張ってください。